

## 国保料（税）水準統一に向けた「ロードマップ」の策定について

### 1 背景

- 『国民健康保険における納付金及び標準保険料率の算定方法について（ガイドライン）』において、「都道府県内市町村の意見を十分踏まえつつ、将来的には、都道府県での保険料水準の統一を目指し、都道府県内の各地域で提供される医療サービスの均質化や医療費適正化の取り組み等を進めること」が求められている。
- これを受けて県では、『長野県国民健康保険運営方針』において、「統一に向けた課題の解消状況を把握し、また、段階的な取組の方向性及び目標年次を含めたロードマップ（RM）について、市町村と意見交換しながら、本方針の次期改定時までには検討する」こととした。

### 2 統一に向けての課題

- 納付金算定における医療費水準の反映
  - 医療費増加抑制のインセンティブの確保
  - 医療提供体制の地域差
- 統一保険料設定における収納率の反映
  - 収納率格差の反映方法の要否
  - 収納率向上対策
- 統一保険料設定に向けた費用算定
  - 出産育児一時金・葬祭費・任意給付や保健事業費の算定方法
- 保険料算定方式の統一
  - 3方式への統一（資産割の廃止）
- 市町村事務の標準化等
  - 各種基準（減免・短期証交付・資格適用など）の統一
  - 被保険者証と高齢受給者証の一体交付

### 3 対応

- ワーキンググループ（WG）の設置
 

上記の課題について市町村の意見を聞きながら議論を進めるため、特に大きな課題と考えられる【医療費】【収納率】【事務等の標準化】をテーマにした3つのWGを設置する。
- 主なスケジュール
  - H30年度⇒連携会議幹事会において、WGの設置について説明→了承
  - H31年度⇒WGでの検討→実務担当者検討会→幹事会→RMのたたき台を作成  
幹事会での議論を経て、全市町村意見照会用のRMのたたき台（修正版）を作成
  - H32年度⇒県連携会議での議論を経て、RM素案・最終案を検討  
RM素案により、市町村（担当者）説明会・意見照会を実施  
幹事会において最終案の検討→パブコメの実施  
市町村長への説明→RM策定・国保運営方針改定